

# わが国の工業触媒の歴史 目次

刊行にあたって		日本の工業触媒の歴史編纂実行委員会
緒言		室井高城
<b>第I部 無機工業薬品製造触媒</b>		
第1章	硫酸合成	植島陸男
第2章	アンモニア合成	
	[1] 人類を救った人達と触媒作用	田丸謙二
	[2] 戦前のアンモニア合成触媒	室井高城
	[3] 戦後のアンモニア合成触媒	室井高城
第3章	硝酸合成	室井高城
第4章	過酸化水素合成	家根橋茂・辻野孝行
第5章	塩素合成	関 航平
<b>第II部 有機工業薬品製造触媒</b>		
第1章	メタノール合成・ホルマリン合成	吉原 純
第2章	アセチレン化学	室井高城
第3章	オレフィン製造－水素化精製を中心に－	佐藤裕三
第4章	エチレンオキシド合成	小野貴良
第5章	塩化ビニル合成	森脇正之
第6章	酢酸合成	松田洋和
第7章	酢酸ビニル合成	中村征四郎・安井昭夫
第8章	プロピレンオキシド合成	石野 勝
第9章	アクリロニトリル合成	野上 晃
第10章	アクリルアミド合成	上原与志一
第11章	アクリル酸合成	萬ヶ谷康弘
第12章	メタクリル酸メチル合成	山松節男
第13章	無水マレイン酸合成	岩阪洋司
第14章	1,4-ブタンジオール合成	岩阪洋司
第15章	ポリテトラメチレンエーテルグリコール合成	
	[1] ヘテロポリ系触媒	外村正一郎
	[2] 複合酸化物系触媒	瀬戸山 亨
第16章	ポリアミド原料合成	
	[1] 概説	緑川英雄・北村 勝
	[2] シクロヘキセン法シクロヘキサノール合成	永原 肇
	[3] ε-カプロラクタム合成	杉田啓介

第17章	芳香族原料合成	西村陽一
第18章	スチレン合成	小鷹狩暢明
第19章	無水フタル酸合成	植畠陸男
第20章	テレフタル酸合成	寺崎 渉
第21章	フェノール合成	鍋田貴司
第22章	ビスフェノール-A合成	齋藤 奨
第23章	ビリジン類合成	井口 晃
<b>第III部 ファインケミカルズ製造触媒</b>		
第1章	不斉合成	堀 容嗣
第2章	クロスカップリング	小宮三四郎
<b>第IV部 油脂・食品用触媒</b>		
第1章	戦前の油脂触媒	室井高城
第2章	油脂の水素化	清水 宏益
第3章	油脂の水素化分解	三村 拓
<b>第V部 高分子合成触媒</b>		
第1章	ポリオレフィン合成 序	志賀昭信
第2章	ポリエチレン触媒 - 製造プロセス・材料開発とともに進化した	松浦一雄
第3章	Phillips触媒	三上尚孝
第4章	ポリプロピレン触媒	志賀昭信
第5章	高活性MgCl <sub>2</sub> 担持Ti触媒	柏 典夫
第6章	シングルサイトポリオレフィン触媒	石井聖一・三谷誠・藤田照典
第7章	シンジオタクティックポリスチレン触媒	石原伸英
<b>第VI部 石油精製用触媒</b>		
第1章	水素化処理	
	[1] 水素化脱硫	藤川貴志
	[2] 水素化脱メタル-触媒開発の経緯-	東 英博
	[3] 水素化精製・水素化分解	岡崎 肇
第2章	接触改質	猪上大輔
第3章	流動接触分解	増田立男
第4章	アルキル化・異性化・低重合	西村陽一
<b>第VII部 エネルギー・環境用触媒</b>		
第1章	石炭直接液化	鈴木俊光
第2章	FT合成	室井高城
第3章	戦前・戦中のガソリン製造	西村陽一
第4章	水素製造	岡田佳巳

第5章	燃料電池	
	[1] システム用改質系触媒	里川重夫
	[2] 電極触媒	吉武 優
第6章	光触媒	大谷文章
第7章	脱硝	
	[1] 触媒開発と工業プロセス	松田臣平
	[2] 触媒開発と知的所有権	古尾谷逸生
第8章	自動車排ガス浄化触媒	
	[1] ガソリンエンジン用	松本伸一
	[2] ディーゼルエンジン用	赤間 弘
第VIII部 種別触媒		
第1章	金属触媒	室井高城
第2章	酸・塩基触媒	田部浩三
第3章	ゼオライト触媒	八嶋建明
第4章	ヘテロポリ酸触媒	御園生誠・青島 淳
第5章	Mo系複合酸化触媒	丁野昌純
第6章	スポンジメタル触媒	小川芳規
第7章	活性白土	薄井耕一
工業触媒の歴史年表		室井高城